荒尾市民病院
- Arao Municipal Hospital -
市民を愛する　市民に愛される　病院へ

地域医療連携だより

小岱

第40号
（令和2年9月発行）

地域医療支援病院　地域がん診療連携拠点病院　臨床研修病院（基幹型・協力型）
脳卒中急性期拠点医療機関/回復期医療機関
心筋梗塞等の心血管疾患急性期拠点病院/回復期医療機関
日本医療機能評価機構認定　第2種感染症指定医療機関　地域周産期中核病院　災害拠点病院

ご挨拶

荒尾市民病院　院長　勝守高士

有明ネットワークの皆様には、日頃より患者中心の医療構築のため、病病及び病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。

今年はＣＯＶＩＤ－19の大流行により、感染防止目的に“３密”を避けなければならず、やむなく5月の地域医療連携懇親会を中止いたしました。その後、第1波は収束しましたが、7月に第2波が到来し、長洲町でのクラスター発生となり、一気にＣＯＶＩＤ－19感染がこの有明地域において、ごくごく身近なものになり、緊張感が高まりました。なんとか第2波も収束に向かいつつありますが、終焉はなかなか期待できないところです。おそらく今後長い期間、新型コロナウィルスとの共存が求められると思われます。

新型コロナウィルス感染の影響を見てみますと、当院への紹介患者数は、ＣＯＶＩＤ－19感染前の平均520人／月から感染拡大後420人／月に約100名減少し、当院からの逆紹介者数も535人／月から460人／月に約75名減少しました。新規入院患者数は345人／月から300人／月に減少し、救外受診者数も750人／月から600人／月に減少しましたが、救急車搬送台数は165台／月前後と変わらず、救急車搬送からの入院患者数は逆に85人／月から90人／月とやや増加しました。地域がん拠点病院としての機能では、がん手術数が18件／月から19件／月とやや増加し、化学療法数も305件／月から340件／月に増加しました。放射線照射数は新型コロナウィルス感染前後ともに11件／月で変わりませんでした。心筋梗塞などの心大血管疾患急性期拠点病院としての機能ではPCI数が新型コロナウィルス前後とも約12人／月と変わらず、脳卒中急性期拠点病院としての機能でも脳血栓溶解治療例が前後とも1～2人／月と変わっていませんでした。これらの結果から、ＣＯＶＩＤ－19感染蔓延に伴い、軽症患者の受診が減少していることが明らかになりましたが、がん・心筋梗塞・脳卒中患者の治療数は不変かやや増加で、拠点病院機能は十分に維持されていることが確認されました。

新型コロナウィルス感染蔓延に際し、当院の院内感染予防および感染症指定医療機関としての対応のために、急性期を過ぎた患者の転院に関して迅速に対応していただき誠にありがとうございます。

今後とも荒尾市唯一の急性期病院として、新型コロナウィルスの院内感染を予防しながら病病及び病診連携を緊密に行い、効率のいい診療を行うことで、地域住民の健康の維持・増進に努めていく所存です。今後とも宜しくお願いいたします。

診療科の紹介（整形外科）

整形外科　部長　松元　健一郎

平素より患者様のご紹介、転院等にて大変お世話になっております。

荒尾市民病院　整形外科の近況をご報告させていただきます。現在、当科では整形外科医師4名体制にて診療させていただいております。診療内容としては、外傷分野が主となります。昨年度の手術件数は373件で、その多くは高齢者の骨折です。日々進歩する手術機器、手術手技を学び、検証、導入することで脆弱性の強い高齢者症例に関しても安定した治療を提供できるよう心がけております。例として、大腿骨転子部骨折に有用なASLOCK Nail（既存の髄内釘よりも骨折部位周囲に多くのスクリューを設置可能）を不安定型の大腿骨転子部骨折に用い、以前よりも免荷期間を短縮できる症例が増えております。同機材は適応症例にのみ使用しておりますが、県下での使用数は当科が一番多い状況です。単純に使用数が多いことが良い訳ではなく、同機材を使用した症例の経過が良好である点を評価していただければ幸いです。また、最近では骨髄炎・軟部組織の重度感染症に対する治療法としてｉＭＡＰ・ｉＳＡＰ療法という局所に高濃度抗生剤を灌流させ、難治性感染症を治す方法を導入いたしました。これにより、以前は四肢切断を選択せざるを得なかった骨髄炎などの患者様の四肢温存を望める機会が増えることが予測されます。その他、人工関節置換術などを含め、手術の知識・手技を学び、更なる安定した医療を提供できるよう努めておりますので、安心して患者様のご紹介をいただければと思います。

また、昨年導入しました骨密度測定器は短時間で精度の高い評価ができますので、その結果を基に各種骨粗鬆症治療薬（ビスホスホネート系薬剤、PTH製剤、生物製剤）による治療にも力を入れております。骨粗鬆症に関しましては、熊本大学整形外科による「高齢者骨折患者と骨粗鬆症（仮）」に関する研究への参加のお話も出ていますので、今まで同様ご紹介をいただけますと幸いです。

最後になりますが、2点ご報告事項がございます。

1点目は、現在当科では脊椎外科専門医が不在の状況が継続しておりますので、脊椎関連疾患のご紹介をいただくことが多々ございますが、専門的な対応ができないということです。

もう1点は、コロナウイルスに関してです。現在、世界的なコロナウィルス感染症蔓延が生じておりますので、入退院の際にコロナウィルス検査などのため迅速な対応ができない場合がございます。

以上の点に関しまして、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。大変恐縮ではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。

新病院の建設に向けて

病院建設室

○　開院時期　令和5年（2023年）10月開院予定

　新病院建設にあたっては、高度な医療の提供はもちろんのこと、皆さんがわかりやすく利用しやすい施設を目指しています。2019年度は新病院の基本的な形である基本設計（平面計画・立面計画・断面計画・造成計画等）をまとめました。本年度は実施設計を取りまとめ、令和3年度（2021年度）からの工事着工、令和5年（2023年）10月の新病院開院を予定しています。その後、既存施設を解体し、駐車場等を整備するなど、全ての工事が完了するのは、令和6年（2024年）11月の予定です。

●新病院のこだわりポイント

・全個室型の一般病棟

　感染症対策に効果を発揮し、ご家族との会話や音、臭いなどのプライバシーにも配慮した全個室型一般病棟を整備します。

・感染症対策の強化

　新型コロナウイルスの感染拡大など予測不能な感染症へのさらなる対策として、感染症病棟専用エレベーターの設置や、感染症対応病室の切り替えを可能とする空調システムの導入などを行います。

・わかりやすく利用しやすい外来

　患者さんの移動負担を軽減させるとともに、効率的に受診できるよう、全ての診療をワンフロアで行えるようにします。また、複数の診療科をまとめたブロック受付を配置し、初めての患者さんにもわかりやすく、待合の状況も確認しやすくします。

・救急・災害に迅速に対応

　免震構造を採用し、災害に強い病院をつくります。また、救急医療体制を充実させるため、屋上ヘリポートと救急関連部門・高度医療部門を直結する専用エレベーターを整備します。

・玄関前にバス停を設置

　充分な駐車スペースを確保するとともに、正面玄関前にはバス停をつくり路線バスを乗り入れます。また、敷地内で交通事故を発生させないように救急車などの動線を分離します。

●予定している医療機能の充実

①災害時の医療救護活動の中心的な役割を担う災害拠点病院としての機能
　（2020年2月に指定）
②重症患者の治療を地域内で行える地域救命救急センターの指定
③困ったときに相談できる患者サポートセンターの充実
④歯科口腔外科の開設等、診療科の更なる充実
⑤ロボット手術に対応した手術室を整備し、高度医療を推進
⑥熊本大学との連携強化（臨床研究室（コホートセンター）の設置）

心臓リハビリテーションの紹介

リハビリテーション技術科　本多　功二郎

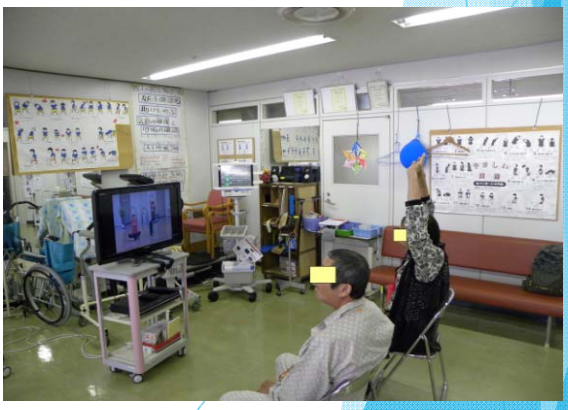
当院は、平成21年から熊本県より心筋梗塞等の心血管疾患急性期拠点病院の指定を受け、専門の医師による心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈インターベンション治療（PCI）に24時間対応可能な唯一の施設であり、地域医療支援病院として高度な急性期医療を提供しています。あわせて、心臓専門チームによる心臓リハビリテーション（以下、心臓リハビリ）を行っています。心臓機能の回復はもとより、身体的、精神的負担の軽減や再発予防としての運動療法、食事療法、生活習慣の改善指導なども実施しております。

当院の心臓リハビリは平成20年4月から開設し、今年で12年目となります。施設基準は心大血管リハビリテーション認定施設基準Ⅰを満たしており、急性期から慢性期までトータルに高度な専門医療を提供することが可能です。対象患者は、急性心筋梗塞、狭心症、心不全、大動脈解離、冠動脈バイパス術後、弁膜症術後、閉塞性動脈硬化症などの方です。特に急性心筋梗塞に対する冠動脈インターベーション治療後には、治療翌日より早期リハビリテーションを開始しております。

日頃より、安全で安心な、かつ患者様のニーズにあった医療の提供を念頭に、主治医と相談し、患者様一人ひとりの状態に応じた効果的なプログラムを提案し、実施しております。

また、近年、当地域では高齢人口の増加により、心不全患者の急増が予想され、心不全に対する心臓リハビリも積極的に行い、再発予防にも努めております。

今後も、有明地域の医療機関の皆様と連携をとりながら、患者様の早期社会復帰、再発予防、生命予後の改善に努めて参りたいと思います。



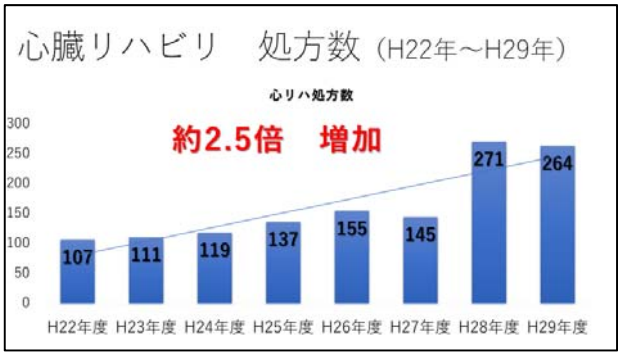
「　質の高い　安全で　安心な
心臓リハビリを提供します！　」

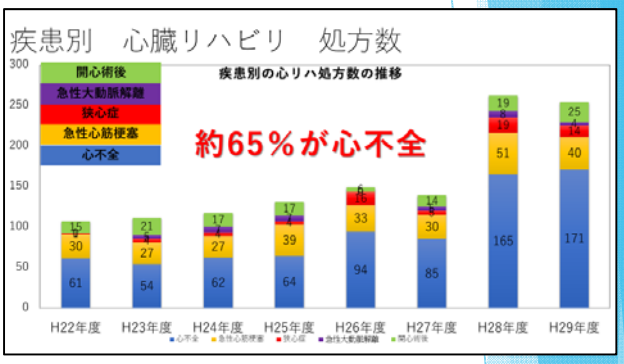
心臓リハビリテーションの紹介

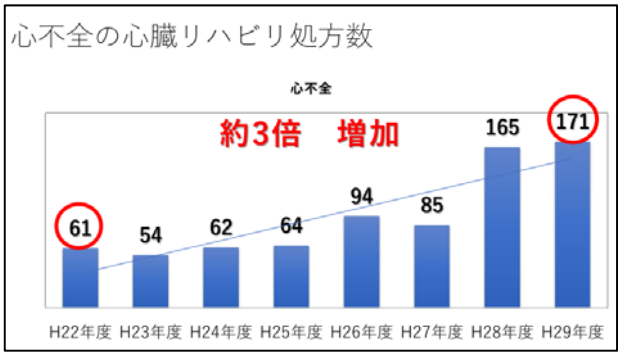
【心臓リハビリテーションの効果は？】

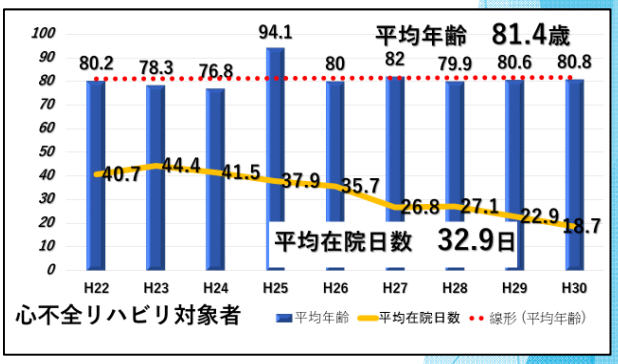
心臓リハビリテーションの効果はこれまでの研究によって多岐にわたり証明されています。具体的には、虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)の患者様が心臓リハビリを行うことにより、行わなかった時に比べて、心血管病による死亡率が26%低下し、入院のリスクが18%低下すると言われています。また心不全の患者様が心臓リハビリを行うことにより、行わない場合に比べてあらゆる入院が25%減少し、心不全による入院も39%減少することが証明されています。

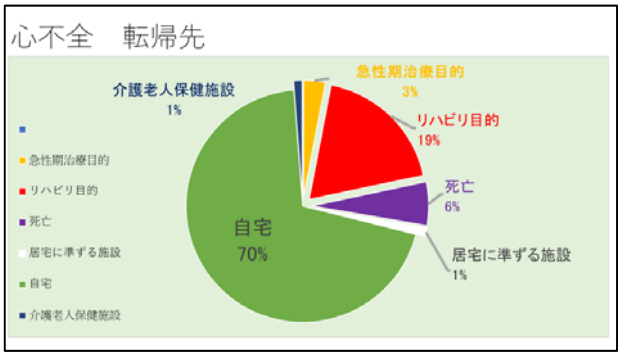
【当院の心臓リハビリ状況】

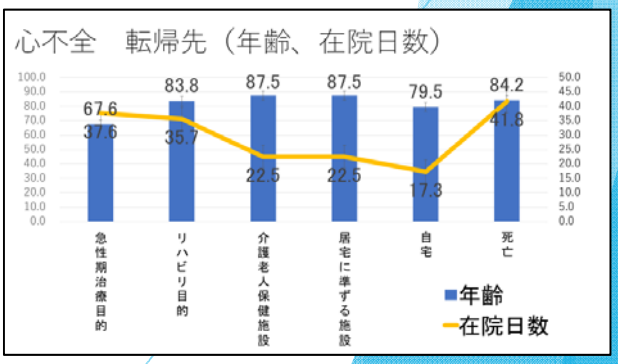












INFORMATION

初診時選定療養費（改定）
再診時選定療養費（新設）・時間外選定療養費（新設）のお知らせ

令和2年4月の診療報酬改定により、200床以上の地域医療支援病院は、初診時及び再診時の選定療養費（厚労省が定めた最低金額）を徴収することを義務付けられたことから、当院では、令和2年8月1日より、初診時・再診時・時間外において、対象となる方から選定療養費の徴収を開始しております。

初診時・再診時選定療養費は、「病院」「かかりつけ医」の医療機関相互の役割分担及び業務連携の推進を目的として、厚生労働省により制定された「医療機関の機能分担」に係る制度で、当院も、この役割分担を進めております。

患者さんを当院へ紹介されます際は、紹介状をお持たせ頂きますよう、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

料金（税込）	対象
初診時選定療養費 5,500円(税込)	患者さんが紹介状を持参せずに当院を初診で受診される場合に、通常の医療費の他に別途ご負担頂く費用です。
再診時選定療養費 2,750円(税込)	当院では治療により病状が安定した患者さんにつきましては、他の医療機関に紹介を行っておりますが、患者さんご自身の判断で引き続き当院を受診される場合に、通常の診療費の他に別途ご負担頂く費用です。※受診の都度ご負担頂きます。

注）徴収の対象外となる場合は以下の通りです。
・救急の患者（緊急入院や緊急手術、緊急処置が必要な場合）・国の公費負担医療制度の受給対象者
・地方自治体単独の公費負担医療の受給対象者（特定の障害、特定の疾病に限る）
・無料低額診療事業実施医療機関における当該制度の対象者・エイズ拠点病院におけるHIV感染者

また、当院の大きな役割である二次救急医療（主に入院治療等を必要とする重症患者さんの診療）において、現状、緊急性が認められない患者さんの時間外受診も見受けられ、重症・重篤患者さんの対応に支障が出ているほか、救急担当医師等の業務負担も増大しており、緊急性が認められない病状で当院を受診される場合、保険適用の診療費とは別に、選定療養費を徴収しております。

料金（税込）	対象
時間外選定療養費 5,500円（税込）	原則、平日：18：00～翌8：00、土日祝日の全時間帯に来院される全ての患者さんが対象

注）徴収の対象外となる場合は以下の通りです。
・時間外受診の結果、そのまま入院となった場合・緊急処置（縫合処置、吸入など）を要する場合
・当院医師から、時間外・休日受診の指示があった場合・救急車で来院された

荒尾市民病院外来診療担当医
（　令和２年9月１日～　）

◎・・・前回分からの変更箇所

2020/8/31現在

診療科		月	火	水	木	金
総合診療科 （要予約）					鶴田　敬一郎 （11:00～12:00）	
内科				三ヶ島　尊利（非）	三ヶ島　尊利（非）	
呼吸器内科		森松　嘉孝（非） ＜　不定期　＞	赤池　公孝（非）	高城　暁（非）	森松　嘉孝（非）	坂田　晋也（非）
血液内科		山口　俊一朗	*◎金池　俊夫* *（9：00～12：00）*	山口　俊一朗	眞田　功（非）	熊大病院（非） （9：00～12：00）
腎臓内科		吉井　隆一	藤江　康行	藤江　康行		深川　三希子
循環器内科	新患	満瀬　達郎		花谷　信介（非）	渕上　俊一郎	梶原　一郎
	再診	梶原　一郎	山村　智 渕上　俊一郎	渕上　俊一郎 花谷　信介（非）	梶原　一郎	山村　智 末田　大輔（非）
糖尿病・内分泌内科		佐々木　一成	佐々木　一成	佐々木　一成	佐々木　一成	熊大病院（非）
放射線治療科 （要予約）	新患	齋藤　哲雄	齋藤　哲雄	齋藤　哲雄		*◎齋藤　哲雄*
	再診				齋藤　哲雄	
小児科		藤井　績 熊大病院（非） （10：00～12：00）	藤井　績 熊大病院（非）	藤井　績	藤井　績 熊大病院（非） 第2、4週午後専門外来	藤井　績
外科		大嶋　壽海 塚本　千佳	勝守　高士 外山　栄一郎	濵口　裕光 山本　真一	濵口　裕光 岩永　知大	勝守　高士 山本　真一
脊椎外科 【　現在　休診中　】		前田　勇一 {新患のみ}	前田　勇一	前田　勇一 {新患のみ}	前田　勇一	前田　勇一
整形外科		松元　健一郎 米村　光信	藤枝　浩司 柴田　悠人	（手術日）	松元　健一郎 米村　光信	藤枝　浩司 柴田　悠人
形成外科 13：30～	第1.3.5週			川野　啓成（非）		
	第2.4週			國井　健太（非）		
産婦人科		柴田　三郎	田島　朝宇	柴田　三郎	田島　朝宇	柴田　三郎
泌尿器科		山口　隆大（非）			倉橋　竜磨（非）	原　千瑛（非）
皮膚科		新森　大佑	山村　修司	熊大病院（非）	新森　大佑	山村　修司
耳鼻咽喉科			熊大病院（非）			
麻酔科			松村　健			松村　健
脳神経外科		水野　隆正		今岡　幸弘	水野　隆正	今岡　幸弘
脳神経内科 （要予約） ※急患は除く	初診	大嶋　俊範	白濱　諒 増田　曜章（非）	道鬼　つかさ	*道鬼　つかさ*	渡邊 哲也（非）
	再診	道鬼　つかさ			大嶋　俊範	渡邊 哲也（非） 山中信和(非)(午後)
消化器病センター		山本　甲二	岩永　知大	塚本　千佳	山本　甲二	外山　栄一郎
禁煙外来	要予約	鶴田　敬一郎				
緩和ケア外来	要予約					濵口　裕光
歩行障害外来	要予約 （午後）				大嶋　俊範 道鬼　つかさ	

※午後診療のみ、（午後）で記述しています　　※（非）は非常勤です

★『　*循環器内科、放射線治療科外来、禁煙外来、緩和ケア外来、総合診療科、脳神経内科、歩行障害外来*　』につきましては、【　***完全予約制***　】となっております
ご予約のうえ受診していただきますようお願いいたします。

相談支援センターより

当センターは、「地域医療連携室」「医療福祉相談室」「がん医療連携室（がん相談支援センター）」の3室から構成しています。センター長に勝守院長、次長に濱口緩和ケア内科部長、医事課長を置き、看護師5名（相談支援センター看護師長1名と緩和ケア認定看護師1名を含む）、社会福祉士7名、精神保健福祉士1名、事務員3名の計19名（兼務あり）で構成し、それぞれの専門性を発揮し、早期介入と問題解決に向けた相談支援、地域連携の強化等に取り組んでいます。地域の皆さんが、住み慣れた地域で安心して安全な医療を受けていただき、一層充実した生活が送れるように援助して参ります。

《病院理念》

荒尾市民病院は、地域住民の健康の維持・増進に努め、患者中心の安全で質の高い医療の提供を目指します。

《基本方針》

1 地域の信頼に応える基幹病院として最善の医療を提供します。
2 地域連携を進め、地域完結型医療を目指します。
3 患者の人権を尊重し、温かい心を持った医療人を育成します。
4 効率的な経営管理を基本とし、健全な経営を目指します。

《患者様の権利と責務》

1 あなたは、個人としてその人格が尊重される権利があります。
2 あなたは、あなたの病気について、良質な医療を平等に受ける権利があります。
3 あなたは、医療の内容について十分な説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択し、決定することができる権利があります。
4 あなたは、個人情報とプライバシーが守られる権利があります。
5 あなたは、ご自身のカルテなどの診療記録の開示を求め、その内容や説明を受ける権利があります。
6 良質な医療を実現するため、医師等に患者さまご自身の健康に対する情報を正確に伝える責務があります。
7 病院の規則に従い他者への迷惑にならないように努める責務があります。
8 臨床研修医、看護学生等が指導者の監督のもと研修や実習を行なっていることへの協力をお願いいたします。

荒尾市民病院　地域医療連携だより「小岱」　第40号　令和2年9月発行
発　行：荒尾市民病院　相談支援センター　地域医療連携室
連絡先：〒864-0041　熊本県荒尾市荒尾2600
TEL：0968-63-1115（内線536・537）　FAX：0968-62-4543
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　bsn@hospital.arao.kumamoto.jp

荒尾市民病院
- Arao Municipal Hospital -